

令和元年 第8回米子市教育委員会定例会会議録

日 時 令和元年11月27日(水) 午前9時30分
場 所 教育委員会室

出席した教育委員会教育長及び委員の氏名

浦 林 実(教育長)
金 山 正義
上 森 英 史
荒 川 陽 子
三 瓶 文 香

説明のため出席した職員の職氏名

事務局長兼教育総務課長	松 下 強
学校教育課長	西 村 健 吾
生涯学習課長	木 下 博 和
図書館長	菅 原 朗
学校給食課長	山 中 敦 子
スポーツ振興課長	深 田 龍
教育総務課教育企画室長	後 藤 京 一
教育総務課係長	足 立 卓 哉

議事日程 令和元年11月27日 午前9時30分開議

- 第1 会議録署名委員の指名
- 第2 前回の会議の会議録の承認
- 第3 教育長の報告
- 第4 議 事
 - 議案第18号 米子市スポーツ推進委員の委嘱について
 - 議案第19号 米子市図書館協議会委員の任命について
- 第5 その他

開 会 午前9時30分

浦林教育長 ただいまから、令和元年第8回米子市教育委員会定例会を開会いたします。

1 会議録署名委員の指名

浦林教育長 それでは、日程第1 会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員に三瓶委員を指名します。

2 前回の会議の会議録の承認

浦林教育長 次に、日程第2 前回の会議の会議録の承認に移ります。前回の会議の概要について、事務局から報告をお願いします。

松下事務局長 はい。

浦林教育長 松下事務局長

松下事務局長 前回の会議は10月24日に開催され、議案第16号「米子市スポーツ推進審議会委員の任命について」及び、議案第17号「米子市図書館協議会委員の任命について」の2議案についてご審議いただき、原案のとおりご承認いただきました。

浦林教育長 前回の会議の会議録を承認します。

3 教育長の報告

浦林教育長 次に日程第3 教育長の報告について私から報告をいたします。3点お話ししたいと思います。

1つ目は、計画訪問についてですが、今年度分は全て終了いたしました。ご出席、ご指導をいただきましてありがとうございました。

今年は、どの日程でも校長が学校経営方針を説明するという設定にして、その方針と授業等の方向性が一致できているかが1つのポイントとして見ていただけるように変えたところがございます。

今年度を振り返りまして、またより良い計画訪問ができるよう、改善すべき点があれば、改めて次年度に向かいたいと思っております。

2つ目は、公民館祭も29の全てが終了いたしました。立ち寄っていただいた方もあったと思います。ありがとうございます。天気がほぼ良く実施できて、多くの人でにぎわっていたという印象をもっております。

3点目ですが、11月5日、6日と鳥取市で開催されました、市町村教育委員会研究協議会での参加の方、お疲れ様でした。皆さんいろいろと感じられたことがあると思いますが、私も発表等を聞いて、大いに参考になることがございました。米子市の教育にぜひ活かして行きたいという新たな気持ちになったところでございます。

4 議事について

浦林教育長 それでは、日程第4 議事に入ります。

議案第18号「米子市スポーツ推進委員の委嘱について」を議題とします。

事務局から説明をお願いします。

浦林教育長 深田スポーツ振興課長。

深田課長 それでは、議案第18号についてご説明いたします。

1ページ目をご覧ください。米子市スポーツ推進委員の委嘱についてでございます。

米子市スポーツ推進委員につきましては、現在、平成31年4月1日から令和3年3月31日までの2年間の任期ですが、75名委嘱しておりまして、各地区でのスポーツ活動やウォーキング大会ですとか、そういった活動をしているところでございます。

そのうち、4月1日から委嘱しておりました1名の方、住吉地区の方が一身上の都合でという事で、お仕事が多忙でなかなか出席ができないということで、10月30日を以て辞職させていただきたいという申し出がありまして、同住吉地区から、中西賢一さんの推薦をいただきまして、このたび新たにスポーツ推進委員として委嘱をしようとするものでございます。

任期につきましては、前任者の残任期間ということで、令和3年3月31日までとなっております。

浦林教育長 質疑はありませんでしょうか。

浦林教育長 質疑がないようですので採決いたします。議案第18号については、原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

(「異議なし」という声あり。)

浦林教育長 異議がないようですので、議案第18号「米子市スポーツ推進委員の委嘱について」は、原案のとおり承認することにいたします。

浦林教育長 それでは次に、議案第19号「米子市図書館協議会委員の任命について」を議題とします。
事務局から説明をお願いします。

浦林教育長 菅原図書館長。

菅原館長 はい。議案第19号は「米子市図書館協議会委員の任命について」でございます。図書館協議会は図書館の運営に関し館長の諮問に応じるとともに、図書館サービスについて館長に意見を述べる機関として、図書館法第14条規定により設置しているものでございます。このたび、図書館協議会は定員10名でございますが、そのうち2名の委員を公募いたしましたところ、3名の方からの応募がございました。選考の結果、記載しております2名の方を委員として図書館法第15条の規定によりまして、米子市図書館協議会委員の委員を任命しようとするものでございます。

委員の任期は、本日11月27日から令和3年10月31日までの期間としております。

なお、前回の教育委員会の中で金山委員さんの方から、当初8名の委員のうち、国際ソロプチミストの坂口委員さんのソロプチミストでの役付きというご質問があったと伺っております。坂口委員さんは、ソロプチミストの会長ということをお伺いしております。前任は西村さんという方でしたけど、役付きはわかりませんが、事務局の中で会計をされていると伺っております。

金山委員 調べていただいてありがとうございました。

浦林教育長 質疑はありませんでしょうか。

荒川委員 委員の任期の期間ですが、本日からですか。

菅原館長 前回、提案させていただいた議案の10名が8名になっていますが、各団体から推薦を受けた委員さんとして、本来は協議会委員の任期は11月1日から2年後の10月31日までと決めておりましたが、公募委員に関しまして、事務の遅れというのもあったのですが、公募期間を10月から始めたものですから時間的なずれが生じたということで、教育委員会で任命の承認が得られましたら、当日から辞令を発令したいと思っています。

荒川委員 わかりました。

浦林教育長 その他はよろしいでしょうか。

浦林教育長 質疑がないようですので採決いたします。議案第19号については、原案のとおり承認することにご異議ありませんでしょうか。

(「異議なし」という声あり。)

浦林教育長 異議がないようですので、議案第19号「米子市図書館協議会委員の任命について」は、原案のとおり承認することにいたします。

浦林教育長 以上で、本日の議事は全て終了しましたが、その他で何かございますでしょうか。

荒川委員 先ほど、教育長から計画訪問についてお話しがございましたけど、一年を振り返ってみまして感じているところがございます。

まず計画訪問についてですが、小さなことかもしれませんが、

いつも駐車場で車の誘導をしていただいて、とても助かりました。朝から何時にくるのかわからないにも関わらず、我々を待っていていただき恐縮いたしました。

授業の内容について、前回もお伝えしたと思いますが、ICTの活用については、圧倒的に日本の教育の向かっているところはそっちだと思うのですが、実際の教室の中があまりそうではないのかなと感じる機会が多くて、むしろ紙を用意して貼られたりという場面をととても多く見かけました。先生にとっては、その方がやりやすいのかなと感じる節もあるのですが、ただ、米子の子どもたちだけがそのような教育を受けていて、地域間格差があっては良くないと感じる事がすごく多かったので、ぜひ環境を整えると同時に活用していただく工夫を、もっと積極的にしていかないといけないと感じました。

あと、視点が保護者の観点かもしれませんが、教室にある扇風機が全部ではないのですが、大体どこの学校も一箇所くらい、びっくりするほど掃除が行き届いていないところが気になりまして、気を付けていただきたいといいますか、些細なことではあるのですが、学ぶ環境として埃が飛んでくるのではないかというほどの汚れが目立つ扇風機が、どの学校にもあったと思います。その辺りも行き届いた環境で学べるように、床は掃除されているかもしれませんが、扇風機がどの学校も気になるところです。最初はその学校でお伝えさせていただいていたのですが、どの学校に行っても気になっておりますので、今日お伝えさせていただきました。

救急カレーが就将小学校の計画訪問にあったと思うのですが、年に一回されていると思いますが、子どもたちの反応ですとかお伺いできたらと思います。

救急カレーについて、学校教育課の皆さんも召し上がった事がありますでしょうか。現場の先生たちは年に一回食べておられるのですが、米子市の教育を引っ張っておられる皆さんが、もしかして召し上がっておられない方があるのではないかと耳にしまして、ぜひ、現場の先生だけでなく携わっておられる方も召し上がっていただきたいと思いました。

11月の鳥取での研修で、コミュニティスクールについてとても学びがあったんですが、米子市はどのようなとらえ方でそれに向かっておられるのかお伺いしたいです。

最後に、12月にお伝えをしていると思いますが、近隣の県立高校で、公開授業エキスパート教員の方々の5教科の公開授業があることについて、積極的にチャンスと捉えて、特に英語を教える先生方が自信をもって子どもたちに接していただきたいと思うので、一つのチャンスではあると思うんです。ぜひ積極的に公開授業に参加されたらどうかと思っています。そういう事について、米子市としてどういう風に取り組みられていくのか、少しお話を聞きたいです。

浦林教育長 山中学校給食課長。

山中課長 救急カレーですが、今年で3年目の提供になりました。初めは、全く形態が違うものですので食べにくかったり、味に慣れていなかったり、最初からご飯にカレーが混ざっていますので慣れないために、食べなかった子どももいたようです。

3年目の今年、全ての学校ではありませんが、給食主任の先生方に集まっていた機会に確認しましたら、今年度はよく食べていると聞いております。学校での取扱いにつきましても、いつもの給食とは違う取扱いにしてもらっていますので、学校の方も慣れておられないことが最初であったのですが、3年目となりますとスムーズに提供することができたと思っています。

教育委員会の先生方は計画訪問の日が提供日であれば、居られた方には食べていただく事があるかもしれませんが、特別に提供しているということはありません。

荒川委員 個人的には、米子市の教育の最先端で取り組んでいただいていますので、そういった面も含めて召し上がっていただきたいと思っています。もし機会があればと思います。

浦林教育長 西村学校教育課長。

西村課長 以前、牛乳が変わった際にその牛乳を飲ませていただいたことがありました。今回の救急カレーにつきましても、実態を把握しておくことが大切ですので、機会をとらえて、試食したいと思っています。

その他4点ですが、まずICTの活用につきましては仰っており、ソフトの方とハードの方と環境整備をしながら、しっかりと活用していくように学校の方に周知して、指導をしていきたいと思っております。

松下事務局長 扇風機の件は私からよろしいでしょうか。扇風機のごことは、荒川委員さんが仰いますように、教育委員会でも把握しております、あまりにも汚いところが多いと。

いま、エアコンの整備をしております、中学校は全部ついています。それで冬場に向けてエアコンの使用ですとか電気代のごことも含めて、小学校の校長会、中学校の校長会でそれぞれにエアコンの使用についてということで、一応ルールを説明しました。その際に扇風機について非常に汚いところが多いので、アレルギーのごこともあり、埃が舞っていたりするところもありますので、きちんと掃除をして管理するよというごことは小学校、中学校の校長会で説明をしたところごです。

西村課長 その運用がきちんとなされているかどうかにつきましては、来年度はしっかりとチェックしていきたいと思っております。

それからコミュニティスクールにつきましては、実は米子市としての全体の推進協議会を開催する予定でおります。学識経験者でありますごとか、地域のPTAの方ごですごとか、公民館長さんごや、自治連合会長さんごやそういった方々を推進委員としてお集まりいただき、今後の米子市の方向性を協議していただく場を年内に1回、そして年度内に後2回くらい、具体的なところを協議しながら、できれば来年度以降モデル校を選定して実施していきたいと考えているところごです。コミュニティスクールを導入することで地域と学校が一体になって総がかりで子どもたちが良くなるごことが大事ですので、そういったことごで進めたいと米子市では考えているところごです。

それから公開授業への参加につきまして、エキスパートの事を高校に問い合わせをしましたら、高校の方から少し遅れてではありますごが案内が来ましたので、全中学校に配布したところごです。直接の申込みですからごどういごう参加状況になっているか把握できておりませんが、今後も仰るよごうに指導員の向上が喫緊の課題ですので、市でエキスパート教員に認定されている者

もいますので、そういった者の公開授業への参加を積極的に呼びかけたり、あるいは市の研修に講師を呼んで積極的に指導技術を広めたり、いろいろ工夫をしながらその指導力を拡散したいと考えています。

荒川委員 コミュニティスクールのことは、米子市としてまず協議を始めるという段階ということですか。

西村課長 はい、そうです。

荒川委員 それは積極的に取り組んでどうしたいということではなく、そちらに向けた方向性でやっていかれるのですか。

浦林教育長 少し補足しますと、まずコミュニティスクールといったものは、皆さんは部分的にはいろいろ知っておられるのですが、トータルを知っていただかないと、後で先行きが暗くなってしまう。と言いますのも、全市で同時に行った市町村もあるのですが、聞いてみると上手くいっていなかったり不満が出ていたりするということがあります。

私も昨年、先進地へ行かせていただく機会がありまして話を聞きますと、やはりじっくり構えてみんなが納得して、「出来る」「良くなる」と判断できた時こそやるべきで、3年でやるとか今すぐやるとか決めても、機能しない組織になってしまいます。ですから今年と来年、まずは研修をしていただいて、こういうものがコミュニティスクールだと認知していただいて、そして米子市としてどうするのがいいのか、共通する部分とか、共通しない部分とか整理をしないとイケません。それから学校評議員とか、ボランティアのこととか、いろんなことがあるので、きちんと整理して行き詰らないようにしようという思いです。

先ほど、学校教育課長が申しましたけども、可能であれば令和3年度中くらいに、どこかの学校がやり始めるようなことになればいいなと思っておりますし、そういった雰囲気も学校の方からも伝わってきています。

実は校長研修では、今年度、校長と教頭の全員に対して、コミュニティスクールはこういうものだという話を一時間ほど話をして、実際に県内の他のところからそれを先進的に行った校

長をお願いして、しっかり話を聞かせていただきました。まずは管理職が理解し、今度は米子市としてどうするか決まっていく、ただ前段を整理していかないといけないので、協議会の方でご意見をいただいて一定程度の方向を示していきたい、そういったようなことになろうかなと思っております。

荒川委員 前回の研修会でお話を伺った中で、現在の状況で学校を運営される校長先生方、大変な部分がたくさんあると思うのですが、加えてそういった地域とかいろんなメンバーを巻き込んで、いい子育てをしたい気持ちは当然私も理解できるのですが、先生方の負担が、たくさん意見を聞きながら学校を運営していくということは、賛成もあれば反対意見もきっと出てくると思うので大変なのかなと感じました。そのあたりはじっくりと進めていかれるということで安心はしましたが、多忙感と言われる中、反比例しているような気もしないではないのですが、子育てが上手くいくようにという思いは共有しつつ、進めていただけたらと思いました。

浦林教育長 簡単に言うと、コミュニティスクールを導入することで子どもも良くなるのですが、学校の重複している部分とかも整理されることを願っています。

校長にとっては、やらなければならないが増えるかもしれませんが、それだけ味方が増えて、一緒にやっていくというところで荷物が軽くなると言える部分もあると思うので、そういった形に是非していきたいと、やることを目的に全くしていませんので、学校が良くなる、子どもが良くなるということがあくまでもゴールですので、ここは慎重に進めていきたいと思えます。

また皆さんのご意見を頂戴出来ればと思っています。

浦林教育長 その他、いかがでしょうか。

三瓶委員 英語に関する事ですが、来年度教科書が全部小学校は変わると思うのですが、英語の教科書も新たなものになります。私も教えているというのもあって、その他の学校の進め方とか教科書への対応とかとても気になりますので、できれば来年度の

計画訪問に、英語をどの学校でも組み入れてもらえないかなと思うのですが、難しいことでしょうか。

浦林教育長 西村学校教育課長。

西村課長 D日程、いわゆる学校教育課の指導主事や、他の県の指導主事が張り付きで行う訪問につきましては、小学校は国語と算数で授業していただくことになっています。そこに外国語や外国語活動を入れることももちろん可能ではありますが、実態やバランスを見ながら検討していきたいと思います。

それ以外の日程につきましては、おそらく、ほとんどの学校が今年度は外国語や外国語活動を入れていると把握しております。今後、道徳ですとか、外国語ですとか、これからの教育課程を進める上で特に視察が必要と思われる教科について、必要に応じて学校に要望していきたいと思います。

浦林教育長 仰るとおり、時代とか米子市の課題を解決するためにこの計画訪問を実施していますので、いま言われた視点については非常に大事だと思いますし、道徳が教科になってどうなったという課題もありますし、今国語や算数の学力も課題になっていますし、いろいろなところで優先順位をつけながらまた進めていきたいと思っています。

三瓶委員 もう一点、英語の研修に関してなんですが、私自身、外国語支援員をしまして、支援員に対する研修が2年間ありませんでした。ALTの先生と絡むことはないのですが、小学校で実際に英語を担当される先生、それとALTの先生、できれば学校支援員もしくはその他、英語に携わる先生と一緒に研修会は考えておられないでしょうか。

西村課長 外国語活動支援員は県の非常勤講師ですが、現在、三者と一緒に研修はございませんので、いただいた意見を参考に、県と連携しながら検討していきたいと思います。

浦林教育長 その他、いかがでしょうか。

上森委員 最近6年生の児童がSNSで知り合った男性と一緒に大阪から関東まで一週間監禁みたいなことになって、そういう事案が表に出た以外にも、実際は子供たちがSNSでいろんなところで犯罪に巻き込まれるケースが、今まで以上に増えてくる時代になっていると思います。携帯電話が出始めた時に、各学校でメディアリテラシーということで、PTAの方も一緒に勉強をして、講師の方に来てもらって、子どもたちに危険も含めた教育をしてもらっているのですが、あの時より、またさらに巧妙になって、相当根の深い大人にもわからない事がどんどん進んでいるので、そういった事を改めて、米子市としても犯罪防止も含めて、きちんと親にも子どもたちにも教育や指導ができるような体制を整えた方がいいのかなと思います。拉致ではなく一緒について行ってしまうようなことになっています。改めて今回のことの対策とか、各学校に通達はないでしょうか。

西村課長 これについては以前から取り組んできているところであり、こうした事件を受けての通知は改めて出してはおりませんが、校長会等で注意喚起しながら、学校が抱えている危機感を途切れさせないようにしていきたいと思います。また、方法も巧妙になってきていますので、具体例を出しながら、時代の変化に合った、手口に合った指導をしっかり行っていきたいと思ます。

上森委員 これは学校に任せるのですか、事務局として、こういうことをしてくれとあった方がいいのではないかと、任せるのではなくて。

西村課長 県の研修等も関連があると思いますので、連携を取りながらやっていきたいと思ます。

浦林教育長 今回の事案で感じたのは、中学生が対象とかということがこれまでは耳にしておりましたが、小学生までがそういった対象になっているということが、またスマートフォン等の活用が小学生のところまで降りているからそういったことが起きてくる。中学生に比べて判断力とか、そういったところがまだ小学生は弱い部分が相まって、このようなことがあったのではないかと

思っております、小学校で年間に位置付けている学習内容とかを少し中学校がやっている内容とかと入れ替えていくような指導を学校へしていきたいと思っています。

浦林教育長　　よろしいでしょうか。

浦林教育長　　それでは、以上をもちまして、米子市教育委員会定例会を閉会いたします。

閉会　　　　　10時03分